

洗濯

対象学年 小学校中学年	単元名 川越市の人々の生活のうつりかわり
基礎・基本となる内容	道具の様子や使われ方、道具の移り変わりを調べるとともに、人々の生活もどのように変わってきたかを考える。
活用できる資料等	たらいと洗濯機
資料の解説	洗濯機には、噴流式、回転式、攪拌式とあったが、この三菱製の丸型洗濯機は、攪拌式の洗濯機である。洗濯機が登場したころはかなりの高額であった。しかも洗濯は主婦の仕事であり、それを機械にさせるということにも抵抗があったようだ。しかしながら、洗剤の開発や洗濯機の量産により、価格が下がり家庭に入るようになると、たらいでの洗濯とは比較にならないほど主婦の労働が軽減された。
展開例 ○ おばあさんが子どものころは、たらいを使って洗濯をしていました。洗濯をするには、まず何からはじめますか。次に何をしますか。 - 水を井戸から汲んでくるなどの手順を追いながら、洗濯にかかわる労働について気付かせていく。また、洗濯板の使い方として、どちらを上にするかを考えさせることによって、石鹼水をうまく使う工夫に気付かせる。 ○ 電気洗濯機を使う場合は、まず何からはじめますか。次にどうしますか。 - たらいの場合との違うところに気付かせていく。 ○ 電気洗濯機を使うようになったお母さんの生活で、他に変わることはありますか。	 たらいと洗濯板 
評価	○道具の使い方や、たらいから電気洗濯機に変わること、暮らしがどのように変わっていくかを考えることができる。(思考・判断)